

山運輸第137号の2
山運整第68号の2
令和3年4月22日

県内自動車運送事業者 各位

東北運輸局山形運輸支局長
(公印省略)

乗合バスによる死傷事故の発生を踏まえた安全確保の徹底について

標記について、東北運輸局自動車交通部長及び自動車技術安全部長から別添のとおり
通達がありましたので了知されるとともに、事業用自動車の安全運行の確保に万全を期す
ため、運転者に対する指導・監督、点呼等を通じて、改めて輸送の安全確保を徹底するよう
お願いします。

東自旅一第68号
東自旅二第74号
東自貨第24号
東自監第18号
東自保第13号
令和3年4月21日

山形運輸支局長 殿

自動車交通部長
(公印省略)
自動車技術安全部長
(公印省略)

乗合バスによる死傷事故の発生を踏まえた安全確保の徹底について

4月19日(月)午後6時25分頃、秋田県由利本荘市の国道7号線において、乗合バスが走行中、横断歩道を横断中の歩行者(13歳の女子中学生)をはね、死亡させるという痛ましい事故が発生しました。

事故の原因等については現在調査中ですが、横断歩道を横断中の歩行者をはねるとい、基本的な安全確認不足によるものと思われる事故であり、自動車運送事業そのものの社会的信頼を大きく失墜させるものであります。

つきましては、事業用自動車の安全運行の確保に万全を期すため、運転者に対する指導・監督、点呼等を通じて、改めて輸送の安全確保を徹底するよう、貴支局管内の自動車運送事業者に対し周知をお願い致します。



横断歩道渡る途中

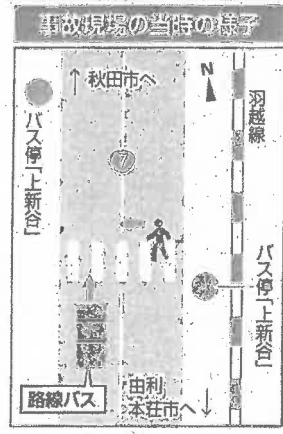
バス運転手供述「気付くの遅かった」



16日夕に由利本荘市岩城勝手の国道7号で女子中学生が路線バスにひかれ死亡した事故で、自動車運転処罰法違反（過失運転致死）の疑いで現行犯逮捕された運転手の男が、気付いた時は遅かったと供述していることが20日、県警への取材で分かった。由利本荘市は容疑を過失運転致死に切り替え、事故当時の状況を調べている。

由利本荘 中学生死亡事故

男は同日、亡くなったのは、藤田由良野、羽後通（本社）能代市宇形橋、甲谷美穂（樽室市）社員藤田生念容疑者（33）と明らかにした。関係者によると、甲谷さんは能代二中の2年生。県警によれば、逮捕されたバス運転手は、由利本荘市石女子中学校がはねられた現場。横断歩道を右から左へ渡っていた。20日、由利本荘市岩城勝手の国道7号（手前が由利本荘市方面、奥が秋田市方面）



事故現場の当時の様子

6時25分ごろ、由利本荘市方面から秋田市方面に路線バスを運転中、横断歩道を渡っていた甲谷さんをはね、頭部外傷などのけがを負わせた疑い。甲谷さんは同日午後10時15分、脳の損傷で死亡が確認された。

甲谷さんは能代市内の友人の中学生と2人で現場の国道脇を歩いていて、信号機のない横断歩道をバスの進行方向から見て右から左へ甲谷さんが先に横切った際にはねられた。藤田容疑者は容疑を認め、「横断歩道で人をひいてしまったのは間違いない」と供述している。友人やバスの乗客にけがはなかった。

人と買物物をした噂りだっ。現場は見通しのよい片側1車線の直線道路。事故当時、辺りは薄暗かったという。

能代二中の保護者校長は「突然の出来事。非常に残念。裏面目撃している生徒や友達も多く、学校生活を送る中で聞いていた」と話した。

県教育庁は20日、県内25市町村の小、中学校に交通事故未然防止に向け、対応の徹底を求める緊急指示を出した。県教育庁義務教育課によると、緊急指示は県内の教育事務所出張所を通じて出した。これまでの事故発生状況や交通事情など各校の実態に応じた指導を求めた。

このほか、能代市教育委員会（伊藤康一、産藤博典）は同日、市内の全13小中学校に呼び、児童生徒が外出する際は交通安全防止に努め、帰宅時間や連絡手段を家族に確認するよう求める通知を出した。

事故防止徹底を